

平成 29 年度第 3 回島田市立図書館協議会 次第

日 時：平成 29 年 11 月 30 日（木）午後 7 時～

会 場：おび・りあ 4 階 多目的室

1 開 会

2 あいさつ（図書館課長、協議会会長）

3 会 議

議題 1 平成 29 年度島田市立図書館事業中間報告について

議題 2 豊川市中央図書館視察報告

4 その他

5 閉 会

平成29年度 島田市立図書館利用状況（4月～10月）

①平成29年度利用者数及び貸出点数（前年度比較）

※利用者数は延べ人数

区分 館名	利用者数（4月～10月）				貸出点数（4月～10月）			
	平成29年度	平成28年度	比較		平成29年度	平成28年度	比較	
			増減	前年比			増減	前年比
島田図書館	70,685	70,540	145	100.21%	233,341	239,819	△ 6,478	97.30%
島田分館	0	184	△ 184	0.00%	0	326	△ 326	0.00%
金谷図書館	24,221	23,165	1,056	104.56%	84,656	83,715	941	101.12%
川根図書館	7,348	7,899	△ 551	93.02%	20,268	21,681	△ 1,413	93.48%
初倉公民館	981	1,141	△ 160	85.98%	3,863	4,201	△ 338	91.95%
六合公民館	1,657	1,517	140	109.23%	6,595	6,197	398	106.42%
北部ふれあいセンター	264	0	264	—	1,248	0	1,248	—
大津農村環境改善センター	235	0	235	—	1,165	0	1,165	—
金谷南支所	0	17	△ 17	—	0	23	△ 23	—
金谷北支所	0	0	0	—	0	0	0	—
計	105,391	104,463	928	100.89%	351,136	355,962	△ 4,826	98.64%

②平成29年度年代別利用者数（前年度比較）

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般							計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
H29年度	272	5,874	17,444	2,969	1,253	893	2,884	11,458	16,550	13,625	17,688	11,683	2,798	105,391
H28年度	277	5,967	17,542	3,172	1,242	996	3,081	11,373	17,075	13,346	18,119	9,620	2,653	104,463
増減	△ 5	△ 93	△ 98	△ 203	11	△ 103	△ 197	85	△ 525	279	△ 431	2,063	145	928
比較	98.19%	98.44%	99.44%	93.60%	100.89%	89.66%	93.61%	100.75%	96.93%	102.09%	97.62%	121.44%	105.47%	100.89%

③平成29年度年代別貸出点数（前年度比較）

区分	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大学一般	一般							計
	0～1歳	2～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～22歳	23～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
H29年度	1,216	31,794	67,966	9,118	3,047	2,811	9,200	39,755	52,649	37,224	52,888	35,974	7,494	351,136
H28年度	1,296	31,489	69,106	9,309	3,351	2,853	9,944	41,615	54,563	38,783	54,000	31,977	7,676	355,962
増減	△ 80	305	△ 1,140	△ 191	△ 304	△ 42	△ 744	△ 1,860	△ 1,914	△ 1,559	△ 1,112	3,997	△ 182	△ 4,826
比較	93.83%	100.97%	98.35%	97.95%	90.93%	98.53%	92.52%	95.53%	96.49%	95.98%	97.94%	112.50%	97.63%	98.64%

平成 29 年度島田市立図書館事業中間報告

1 読書週間関連事業

(1) こどもの読書週間 4月23日(日)～5月12日(金)

標語「小さな本の大きなせかい」

《島田図書館》

◇企画展「アンデルセン」

期 間：4月23日(日)～5月12日(金)

場 所：3階児童書特集コーナー

内 容：「アンデルセン」をテーマにした本の特集をした。

《金谷図書館》

◇企画展「瀬田貞二生誕 100 周年」「むかしばなし」

期 間：4月23日(日)～5月12日(金)

場 所：児童特集コーナー

内 容：「瀬田貞二生誕 100 周年」「むかしばなし」をテーマにした本の特集をした。

《川根図書館》

◇企画展「心がホッとあたたまる本の時間」

期 間：4月23日(日)～5月12日(金)

場 所：カウンター前特設コーナー

内 容：「谷川俊太郎」をテーマにした本の特集をした。

(2) 秋の読書週間 10月27日(金)～11月9日(木)

《島田図書館》

◇おはなしマラソン

実施日：10月28日(土)

場 所：おはなしのへや

内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

参加者：183人(大人57人、子ども126人)

《金谷図書館》

◇おはなしマラソン

実施日：10月21日(土)

場 所：金谷生涯学習センター みんなの 2階 集会室

内 容：読み聞かせグループによるおはなし会

参加者：216人(大人89人、子ども127人)

《川根図書館》

◇読書週間特集コーナーの設置

①期 間：10月1日（日）～10月31日（火）

場 所：カウンター前特設コーナー

内 容：「陶芸」などをテーマにした本の特集とポスターの掲示をした。

②期 間：10月27日（金）～11月9日（木）

場 所：カウンター前特設コーナー

内 容：「夜の絵本」などをテーマに小さい子どもが興味を持つ本の特集と本を借りた子どもに色紙で作った「星」を渡し、それに顔を描いてもらい「夜空スペース」に貼るという企画を実施した。

◇スタンプラリー

期 間：10月1日（日）～10月31日（火）

内 容：川根小学校と共同で行った事業。スタンプを10個貯めた子ども16人に「ありがとうカード」をプレゼントし、読書推進を図った。

2 児童サービス

(1) 紙芝居と絵本の読み聞かせ

《島田図書館》

(10月末現在)

曜 日	グループ名	年度 計画	実施 回数	参加 人数
第1日曜日	島田おはなしの会	11回	6回	57人
第2日曜日	大津お話の会	12回	7回	92人
第1・5土曜日	図書館職員	17回	11回	186人
第2・4土曜日	山びこ親子読書会	21回	12回	190人
第3土曜日	あすなろ	12回	7回	76人
第4土曜日	英語であそぼドクターKIDS	9回	5回	99人
合 計		82回	48回	700人

《金谷図書館》

(10月末現在)

曜日	グループ名	年度計画	実施回数	参加人数
第2土曜日	さくらんぼ	11回	6回	92人
第4土曜日	図書館職員	10回	6回	113人
合計		21回	12回	205人

《川根図書館》

(10月末現在)

曜日	グループ名	年度計画	実施回数	参加人数
第3木曜日	たまごマザー	10回	3回	85人
第4土曜日	図書館職員	12回	7回	42人
合計		22回	10回	127人

(2) ブックスタート事業

(10月末現在)

実施月	4月		5月		6月		7月		8月	
実施日	11日	18日	9日	16日	6日	13日	4日	11日	1日	8日
参加者	28人	27人	28人	28人	35人	33人	26人	24人	20人	33人
計	55人		56人		68人		50人		53人	

実施月	9月		10月		4月～10月計
実施日	5日	12日	3日	24日	各月2回 14回実施
参加者	32人	22人	34人	34人	
計	54人		68人		404人

(3) キッズブック事業

(10月末現在)

実施月	4月		5月		6月		7月		8月	
実施日	13日	20日	11日	18日	1日	8日	6日	13日	3日	10日
参加者	31人	32人	20人	26人	30人	31人	26人	31人	35人	37人
計	63人		46人		61人		57人		72人	

実施月	9月		10月		4月～10月 計
実施日	7日	14日	5日	12日	各月2回 14回実施
参加者	42人	39人	38人	38人	
計	81人		76人		456人

(4) おはなし宅配便

実施内容：図書館を利用したことのない子どもたちに来館のきっかけになるよう、職員2～3名が幼稚園や保育園を訪問し、クラス単位、学齢単位で大型絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを30分～40分程度行っている。読み聞かせボランティアグループにも参加していただいている。

平成29年度実績

≪島田図書館≫

(10月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
大津保育園	4月25日(火)	1回	43人	
島田南幼稚園(年中)	5月17日(水)	1回	71人	
島田南幼稚園(年長)	5月23日(火)	2回	84人	
たけのこ保育園	6月8日(木)	1回	17人	大津お話の会
ゆたか保育園	6月14日(水)	2回	42人	島田おはなしの会
島田学園附属幼稚園	6月18日(木)	2回	74人	
島田市立第三保育園	7月5日(水)	1回	32人	大津お話の会
伊久身幼稚園	7月12日(水)	1回	20人	
初倉保育園	8月2日(水)	2回	63人	
くりのみ保育園	9月8日(金)	1回	33人	
こども発達支援 センターふわり	9月12日(火)	1回	20人	
こばと保育園	9月20日(水)	2回	45人	
島田北幼稚園	10月13日(金)	1回	89人	山びこ親子読書会
島田市立第一保育園	10月19日(木)	2回	69人	
計		20回	702人	

《金谷図書館》

(10月末現在)

園名	実施日	回数	参加人数	参加ボランティア
五和保育園	4月25日(火)	2回	64人	
〃	5月10日(水)	2回	64人	さくらんぼ
金谷幼稚園	5月31日(水)	1回	28人	〃
五和幼稚園	6月16日(金)	2回	83人	
神谷城保育園	6月21日(水)	1回	42人	
五和幼稚園(子育て支援センターひよこ)	9月6日(金)	1回	15組 30人	島田おはなしの会
計		9回	311人	

(5) 学校朝読書会への職員派遣(川根図書館)

川根小学校朝読書会

(10月末現在)

実施日	6月15日	7月20日	9月28日	計
参加者	28人	35人	38人	101人

川根中学校朝読書会

(10月末現在)

実施日	6月7日	7月5日	9月6日 (2クラス実施)	計
参加者	34人	32人	57人	123人

3 夏休みイベント

(1) 夏休み一日体験図書館員

内容：小学校4年生から6年生を対象に、カウンターにおける貸出・返却処理、返却図書の配架、図書等の検索、本の装備等の図書館業務を体験するとともに、利用者としてのマナーの大切さを学ぶことを目的で実施した。

《島田図書館》

実施日：7月28日(金)、8月2日(水)、3日(木)、9日(水) 計4回

参加者：各日4人 計16人

《金谷図書館》

実施日：7月27日(木)、8月3日(木) 計2回

参加者：各日4人 計8人

《川根図書館》

実施日：7月27日(木)、28日(金) 計2回

参加者：各日4人 計8人

(2) 夏休み映画会

《金谷図書館》

実施日：8月2日(水)、8月9日(水) 計2回

場 所：金谷生涯学習センター みんなくる 2階 集会室

実施日	上映作品	参加者
8月2日(水)	「ポパイ」	105人
8月9日(水)	「日本の昔ばなし」	71人
計		176人

(3) 「ほんのむし」カード

《金谷図書館・川根図書館》

実施期間：7月1日(土)～8月31日(木)

対 象：幼児から小学生まで

内 容：期間中に本を借りるごとに、「ほんのむし」カードにスタンプを押し、スタンプを10個以上貯めた子どもに景品や賞状を渡し称揚した。

平成29年度実績：参加者678人(金谷574人、川根104人)

・プレゼント配付者103人(金谷90人、川根13人)

・認定証授与者36人(金谷34人、川根2人)

4 講座の開催

(1) 図書館ボランティア講座

《島田図書館》

名 称：初級者向け本の修理ボランティア講座

実施日：5月20日(土)、27日(土)、6月3日(土) 全3回

参加者：延べ28人

場 所：おび・りあ 4階 多目的室

内 容：本を実際に修繕しながら、簡単な本の修理方法を学ぶ。

講 師：長野 将人氏(元島田図書館長)

名 称：書架整理講座

実施日：6月10日(土)

参加者：11人

場 所：図書館 ボランティア室

内 容：返却本の配架や棚の整理

講 師：図書館職員

5 体験学習・施設見学等の受入れ

(1) 勤労体験学習の受入れ

対 象：中学生・高校生

内 容：学校からの依頼により勤労体験学習を受け入れる。受入期間は1～3日間としている。職員の指導の下で配架や装備、貸出業務の現場で図書館の基本的な業務を体験する。体験を通じて労働の大変さ、大切さ、素晴らしさを実感し、図書館への理解を深める。

平成 29 年度実績

(10 月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数	受入図書館
5月16日(火)～ 18日(木)	六合中学校	2年生	2人	島田図書館
	島田第二中学校	2年生	2人	
	金谷中学校	2年生	2人	金谷図書館
8月8日(火)～ 10日(木)	島田高等学校	1年生	1人	島田図書館
8月16日(水)～ 17日(木)	サレジオ中学校	2年生	1人	〃
計			8人	

(2) 施設見学の受け入れ

平成 29 年度実績

(10 月末現在)

実施日	学校名	学年	参加人数	受入図書館
4月28日(金)	金谷小学校	1年生	104人	金谷図書館
5月12日(金)	伊久美小学校	3～6年生	15人	島田図書館
6月2日(金)	島田第二小学校	2年生	51人	〃
6月21日(水)	伊太小学校	2年生	10人	〃
6月22日(木)	金谷小学校	1年生	103人	金谷図書館
7月5日(水)	島田第五小学校	2年生	62人	島田図書館
7月6日(木)	大津小学校	2年生	32人	〃
7月20日(木)	五和小学校	2年生	29人	金谷図書館
7月21日(金)	五和小学校	2年生	28人	〃
9月21日(木)	相賀小学校	1・2年生	14人	島田図書館
9月28日(木)	初倉南小学校	2年生	56人	〃

10月5日(木)	相賀小学校	1・2年生	14人	島田図書館
10月11日(水)	島田第一小学校	2年生	34人	〃
10月12日(木)	島田第一小学校	2年生	34人	〃
10月19日(木)	島田第一小学校	2年生	34人	〃
10月20日(金)	六合東小学校	2年生	76人	〃
計			696人	

6 障害者読書支援

図書館へ来ることができない障害を持った方々の読書活動を支援するため、障害者福祉施設への団体貸出の推進及び読み聞かせ団体訪問の仲介を行う。

また、点字や音訳資料の充実を図り、平成28年度からは伊藤忠記念財団よりマルチメディアデイジー図書の寄贈を受けている。

静岡福祉大学附属図書館相互協力協定事業

島田市立図書館と静岡福祉大学附属図書館は、図書館活動に関する幅広い連携・協力と所蔵する情報資源の有効活用を図ることにより、利用者の学習、教育及び研究並びに地域福祉の向上に寄与する。

《協定の内容》

- ①図書館資料の相互貸借
- ②行事等の共同開催
- ③図書館資料に関する情報の交換
- ④研修会及び実習の開催
- ⑤その他図書館間の協力に関する事項

7 学校図書館支援事業

対 象：市立小・中学校 25校

期 間：平成29年4月1日(土)～平成30年3月31日(土)

内 容：学校図書館支援員の要請に応じて、学校図書館を訪問し図書館運営についての支援を行う。

【概要】

平成23～24年度に実施した学校図書館支援事業（重点分野緊急雇用創出事業）から継続して実施している学校図書館との連携事業。平成26年度に学校教育課採用の学校図書館支援員が10人配置されたことで、支援員への研修を含め重点的に取り組んだ。

図書館から学校図書館支援員への定期的な訪問支援は実施しないが、依頼を受けた際は対応する。

団体貸出し、家庭教育学級での講話、施設見学は例年通り実施している。

8 読書通帳事業

(1) 読書通帳の交付

平成24年9月22日に島田市民と市内の在学に在学する高校生以下の子どもを対象に交付を開始した。平成25年10月1日からは、島田市立図書館カードを持つ人なら誰でも交付している。新規・継続交付は18歳以下の島田市民と市内に在学する高校生以下の児童生徒を対象に無料で交付し、それ以外の利用者には300円で交付。

今年度9月の機種更新に伴い、金谷・川根図書館に記載のみ可能なミニ読書通帳機を導入した。

読書通帳交付冊数（事業開始時から）

区分	新規	継続	再交付	計
平成24年度	1,240冊	6冊	3冊	1,249冊
平成25年度	681冊	140冊	13冊	834冊
平成26年度	423冊	192冊	15冊	630冊
平成27年度	674冊	240冊	17冊	931冊
平成28年度	567冊	224冊	14冊	805冊
平成29年度(10月末現在)	642冊	152冊	15冊	809冊
累計	4,227冊	954冊	77冊	5,258冊

9 雑誌スポンサー制度

企業や団体からスポンサーとして新刊雑誌を図書館へ提供していただくもので、県内初の取り組みとして平成23年度から開始した。提供された雑誌は閲覧コーナーにおいて利用に供するとともに、雑誌カバーと雑誌架扉にスポンサー名と広告を掲載している。

実績（事業開始時から）

年度	スポンサー数	雑誌タイトル数
平成23年度	12事業者	26誌
平成24年度	19事業者	38誌
平成25年度	32事業者	53誌
平成26年度	36事業者	57誌
平成27年度	36事業者	62誌
平成28年度	37事業者	68誌
平成29年度(10月末現在)	36事業者	66誌

10 その他の事業

- (1) 高齢者おはなし会（川根図書館）
実施日：4月から毎月1回（年間12回）
場 所：ふれあい健康プラザ
内 容：図書館職員が出向き、高齢者に読み聞かせを行った。10月末現在で延べ76人の参加者があった。
- (2) 図書館ブックサロン
実施日：5月27日（土）
場 所：島田図書館 ボランティア室
参加者：6人
内 容：本に興味のある人たちが集い、お茶を飲みながら楽しく気軽にお話しながら本に関する情報交換を行った。
- (3) きもだめしおはなし会【新規】
実施日：8月4日（金）
場 所：島田図書館
参加者：33人
内 容：子どもが大好きなおばけにちなんだこわい話の読み聞かせを行い、その後おばけ屋敷風に装飾した真っ暗な館内できもだめしを行った。
- (4) 図書ヨガ【新規】
実施日：9月4日（月）
場 所：島田図書館
参加者：24人
内 容：ヨガ講師を招き、本棚に囲まれたフロアでヨガ講座を開催した。講座の後は館内めぐりツアーを行い、ヨガに関連する本や雑誌の展示も行った。
- (5) 島田図書館移転5周年記念イベント【新規】
- ①人型ロボット「ペッパー」の一日図書館長
実施日：9月23日（土）、24日（日）
場 所：おび・りあ 1階、3階
内 容：「ペッパー」によるお出迎えと図書館の紹介を行った。
- ②人形劇とミニ音楽会
実施日：9月24日（日）
場 所：おび・りあ 4階 多目的室
参加者：68人
講 師：茶問屋ショーゴ 氏

11 11月以降に実施する主な事業

(1) BOOK婚！

実施日：11月3日（祝）

場 所：島田図書館

定 員：男女各 15 人

内 容：本や図書館好きな男女を集めての結婚支援イベント。子育て支援課との共催事業。

(2) こどもわくワーク

実施日：11月3日（祝）、5日（日）

場 所：島田図書館

定 員：4人

内 容：小学生が実際に図書館業務を行い、図書館についての理解を深めてもらう。
こどもわくワークはNPO法人クロスメディアしまだが企画する小学生を対象とした職場体験事業。

(3) 除籍本・雑誌の無料配布

《金谷図書館》

実施日：平成 29 年 11 月 11 日（土）、12 日（日）

場 所：金谷図書館

《川根図書館》

実施日：平成 29 年 11 月 18 日（土）、19 日（日）

場 所：川根図書館

《島田図書館》

実施日：平成 30 年 2 月 10 日（土）

場 所：プラザおおるり 展示ホール

(4) 図書館講座

実施日：11月18日(土)

場 所：川根図書館

定 員：40人程度

内 容：川と人が創る豊かな民俗・文化

講 師：矢澤 和宏 氏

(5) むいぐるみの図書館おとまり会

実施日：11月18日（土）、19日（日）

場 所：島田図書館

定 員：3歳～小学校2年生までの子どもとその愛用のぬいぐるみ10組。
内 容：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館で一晩を過ごす様子を撮影し、子どもたちにレポートすることにより、図書館に関心を持ってもらうことを目的としたアメリカ発祥のイベント。昨年に引き続き第4回目。

(6) ぬっくいあかり展【新規】

実施日：11月25日(土)

場 所：川根図書館

内 容：夜の図書館に「あかりアート」を灯し、川根小学校の児童と図書館職員が「ペープサート」や「紙芝居」、「読み聞かせ」、「しの笛」などのパフォーマンスを披露する。また、開館時間を午後7時まで延長し、本の閲覧・貸出しを行う。

(7) オンラインデータベース活用講座

実施日：11月28日(火)

場 所：島田図書館

定 員：10人

内 容：オンラインデータベースの基本操作を学ぶ講座。

講 師：幸田広志 氏 (株)静岡新聞社総合メディア局)

(8) 全国訪問おはなし隊

実施日：12月9日(土)

場 所：金谷生涯学習センター みんくる 駐車場

内 容：講談社キャラバンカーによるおはなし会などの開催。

(9) 冬のスタンプラリー【新規】

実施日：12月9日(土)～平成30年1月14日(日)

場 所：金谷図書館

内 容：期間中に本を借りたらスタンプ1個を押す。

(10) 図書館ミニコンサート【新規】

実施日：12月10日(日)

場 所：島田図書館

席 数：50席

内 容：図書館利用の促進とクラシック音楽の普及を図るため、ピアノとフルートのアンサンブルでクリスマスの曲を演奏。文化課との共催事業。

(11) 楽しい！理科実験教室

実施日：12月16日(土)

場 所：川根小学校 会議室

定 員：15 人

内 容：小学生を対象に理科実験を行い、関連本の紹介を行う。

講 師：村上泰造 氏、山中史章 氏

(12) 図書館福袋

実施日：平成 30 年 1 月 5 日（金）からなくなり次第終了。

場 所：島田図書館

内 容：職員が選んだ本を福袋にして貸出しを行う。大人向け 28 袋、中高生向け 5 袋、子ども向け 23 袋の計 56 袋。1 袋 2 冊、貸出限度 1 人 1 袋まで。

(13) 図書館おみくじ

実施日：平成 30 年 1 月 5 日（金）からなくなり次第終了。

内 容：職員が作ったおみくじを来館者に引いてもらう。

島田図書館 2,200 枚、金谷図書館 1,000 枚、川根図書館 500 枚、
川根支所 30 枚、チャリム 30 枚、地域館 320 枚。

(14) 新春子ども映画会【新規】

実施日：平成 30 年 1 月 14 日（日）

場 所：金谷生涯学習センター みんなくる

内 容：「たのしいたのしいアニメコレクション」、「チップとデール リスのいたずら合戦」の上映。

(15) 読み聞かせボランティア・ステップアップ講座

実施日：平成 30 年 2 月 10 日（土）

場 所：金谷生涯学習センター みんなくる

定 員：50 人

内 容：エプロンシアターの実演。

(16) 図書館ブックサロン

実施日：平成 30 年 2 月 24 日（土）

場 所：島田図書館 ボランティア室

定 員：10 人

内 容：本に興味のある人たちが集い、お茶を飲みながら楽しく気軽にお話しながら本に関する情報交換を行う。

(17) 本の帯まつり【新規】

実施日：平成 30 年 3 月 3 日（土）～25 日（日）

場 所：島田図書館

内 容：市の伝統行事である「帯祭り」にちなみ、自作の本の帯を募集し、「本の帯まつり」として作品を対象本の画像と共に展示する。

豊川市中央図書館視察報告

1 豊川市中央図書館の概要

建物は地上2階、地下1階（閉架書庫）でプラネタリウム棟を併設。蔵書数は45万冊（開架書庫15万冊、閉架書庫30万冊）。中央図書館のほかに市内に4つの分館がある。

病気やけが、障害などのために来館が困難な方にも読書に親んでもらうため、平成28年2月2日から豊川市電子図書館をオープンした。

正規職員は9人、再任用4人、臨時職員5人。

2 視察研修内容

最初に細井館長から豊川市の概要等の説明があり、平成の大合併で旧豊川市と周辺4町が合併し、中央図書館と4つの分館がある。中央図書館は建設から18年が経過し、老朽化が目立ちあちこちで不具合が生じているとのこと。

図書館の特色としては、プラネタリウムのある図書館は全国的に珍しい。近くに名古屋大学太陽地球環境研究所の観測施設やコニカミノルタの事業所があることから設置された。また、30万冊入る全自動の地下式書庫は国立国会図書館に次いで2番目の規模。ただし、これも老朽化してきた。

続いて尾崎主幹から電子書籍の説明があった。

豊川中央図書館としてハイブリッド図書館の構築を検討していたところ、平成25年に障害者差別解消法が制定され、また平成27年には市内在住の市民から寄附金をいただいたため、図書館として電子書籍導入となった。平成28年2月に電子図書館を開設し平成29年には市民以外の市内在学、在勤者まで利用を拡大した。

導入前は電子書籍ってどうなの？という感じだったが、視覚障害者や来館困難者が自宅で楽しめるということで検討後、1ヶ月ぐらいでの導入となった。ただし、議会でも安定した運用ができるのか、形のないものは資産としてどうなのか？との指摘は受けた。

業者については運用中6社の中から5社を選定し、図書館協議会お墨付きにて1社随意契約。

電子書籍利用登録についてはむやみに利用者を増やさずに、あえて手続きをしてでも読みたいという利用者にとのことで来館しての手続きとした。

どのような人が電子書籍を利用するのか多い順には、終活に向け本を片付けているが、それでも本を読みたい老人、小さな子ども（2人目）がいて、下の子どもの世話中に上の子どもに電子書籍を利用する母親、病人、大勢いる人の場所に行けない精神障害者となっている。

また、廃本になった古典の名作が電子書籍にあり、それが高校の先生の目に留まり学校団体一括利用となったケースもある。

◇委員等からの質問◇

質問：電子書籍の視覚障害者の利用人数は？

回答：把握していない。サピエへの登録者数も把握していない。

質問：1人当たりの利用制限は？

回答：1人5冊までで2週間。1回のみ継続可。

質問：利用登録で障害者枠などはあるか？

回答：特になし。

話が変わるがライセンスを無期限から有期限（2年）に方向転換している。料金も安価になり、新刊をより多く備えることができている。

質問：導入して想定外だったことは？

回答：障害者や来館困難者の利用は思ったより少ない。子どもの読み聞かせや高校生の一括登録は想定外だった。選書も高校生向けや英語のものなどに変わった。

質問：電子書籍のスポンサー化は？

回答：検討中。

質問：電子書籍のメリットは？

回答：本好き（本のむし）にとって、本の置き場所がいない。場所をとらない。読み返しがすぐにできる。

本文中の言葉の検索がすぐにでき、知識が広がり語彙の勉強になる。

電子ペーパーという目に負担の少ない電子書籍もある。

質問：インターネットが利用できるパソコン台数は？

回答：6台あります。

質問：電子書籍の会社が倒産したら？

回答：この件は議会等からも指摘された。契約書に引き継ぐ会社を手配することの一文を入れてある。

豊川市中央図書館として運営上工夫している点について、図書館コラボ展示が紹介された。これは、健康や介護保険、不登校、起業支援などをテーマに図書館玄関ロビーにて場所を提供し、企画、展示は先方にて行い、図書館側はその関連本を並べる。効果として普段借りられない本が借りられる。市役所関係以外に県の保健所や農協、商工会議所などの団体と実施した。この企画はマスコミのネタにもなり、毎月2紙くらいで取り上げられている。

説明後、実際に電子書籍を事務室内のパソコンから閲覧した。また、館内を案内していただいた。

おはなしの部屋は設備環境が大変充実していて立派なものでした。

児童書コーナーには授乳室が設置されているなど、必要なものがさりげなく備わっている図書館でした。

視察に参加した委員の感想・意見

意見・感想 1

豊川市中央図書館は、とても広々と明るい図書館でした。書棚の本も手に取りやすい高さでした。「おはなしのへや」は子供をおはなしの世界に引き込みやすいセッティングになっており、周りに書棚もなく集中して聞ける雰囲気でした。

電子書籍については、導入している豊川市中央図書館は素晴らしいと思います。障害者の利用、本を持ち歩かない、汚れない、読み直しがすぐできるなどメリットは多々あります。動く絵本については聞いた瞬間、子育て中のママには随分楽だろうと思いました。

しかし、使う人、方法に問題があるかもしれません。親の声で読み、親子で絵本を楽しむ事に欠けるのではと思いました。

コラボ展示やイベントについては、とてもよい企画だと思いました。相乗効果があり、来館者も増え、本の貸し出しも増えます。島田市立図書館もスペースがあれば、ぜひ取り組んで欲しいです。

お疲れ様でした。楽しい1日でした。ありがとうございました。

意見・感想 2

視察研修ではお世話になりました。豊川市中央図書館は初めてで大変勉強になりました。以下、思いつくままに感想を書かせていただきます。

今回は豊川市中央図書館の電子書籍がテーマでしたが、島田市立図書館でも電子書籍を近々導入する予定があるのでしょうか？それとも、実施目的に書かれているように「特色のある図書館の運営状況等を視察…」の一環として、豊川市中央図書館が選ばれたのでしょうか？そのあたりの研修先図書館の選定理由を事前に知りたかったと思いました。(第1回協議会等で選定理由のご説明があったのでしたら申し訳ございません)

電子書籍導入には個人的には賛成で、豊川市中央図書館さんが第一の理由として挙げていらした「来館困難者に対応するため」は大事な観点です。来館しなくても、自分の好きな時間に、好きな場所で、本を借りて読むことができるのはメリットが大きいです。

けれども、来館せずに借りられる、返却できることのみを強調しすぎるとデメリットも生まれると思います。

現在、図書館は全国的に倉庫から「場の提供」へ方向転換しています。図書館で一定時間を快適に過ごし、そこで本と人に出会い、情報交換し、その先に何かを生み出せるような学習・活動の場に図書館がなりつつある流れを、「来館不要」がマイナスの要因として働くことがないように気を付けなくてははいけないと思います。

来館困難者は「図書館に行きたくない」のではなく、「本当は行きたいけれども、その手段がない」方がほとんどです。来館の妨げになっている障害（目が見えないので歩行が大変。小さい子がいるので、連れて行くのが大変など）を補うような配慮を同時に考えていけたらと思います。

豊川市中央図書館さんのご発言「書架を整頓したいが、窓口業務を委託しているために自由にできない」。この言葉が大変印象に残りました。

意見・感想3

電子図書館は良い点も多いと思います。

しかし、良い点が具体的に、できれば数値で効果が説明できればと思います。導入の優先的理由は障害者等何らかの理由で図書館に来ることが困難な人のためだと思います。予算の明示がなかったのが残念ですが、かなりの高額な予算措置が必要であるなら、それなりの説得力のある資料が必要となります。この点を考えると、視察の内容は少し物足りなく感じました。例えば、3日間、1週間システムトラブルにより機能が停止した場合、保証（金）はどうなるのか？財産としての管理方法等。島田市への導入はまだまだ調査、確認が必要だと思います。

意見・感想4

今回、豊川市中央図書館と交流したことは、大変意義があったと思いました。少ない人員で、豊川市中央図書館の方々の苦勞もよくわかりました。豊川市中央図書館は、電子図書館をやるにあたって、環境に恵まれていたということもあったと思いますが、最初の1歩を踏み出すことは大変だったと思いました。電子書籍導入に限らず、静岡市内の図書館と定期的に交流し、情報共有するのはいいことだと思いますので、積極的に取り組んでよい図書館にしていきたいと思います。電子図書館については、はじめはどんなもの??と感じていましたが、予算等とのからみや利用状況等もあると思いますが、市民の一人としては、取り入れていただきたいなと思いました。

島田図書館も、他企業、他部門とコラボして、より多くの方に利用してもらえるようになると思います。前回、ヨガ講座を平日昼間にやると記憶していますが、平日の昼間ではなかなか勤め人は参加できないので、平日であれば夕方からや土曜か日曜日に開催するという企画はどうでしょうか？同じように、図書館は静かな場所なので、お坊さんとコラボして、座禅体験を開催したらどうでしょうか？ドリンク&おかし付きで、無料でやったら、お坊さんもこのようなご時勢なので、喜んでコラボするのではないかと思います。

簡単ですが、宜しくお願いします。

意見・感想5

豊川市中央図書館は、図書館施設のほかに多目的ホールや集会室、プラネタリウム等、誘客を図れる施設があり、様々に活用できる資源があることをうらやましく思った。

また、BDSゲートを図書館施設入口から施設全体の入口に移設し、エントランスホールの活用を図るなど、職員も意欲的に取り組んでいることを感じた。

電子図書館については、病気やケガ、障害などを理由に図書館へ来館することが困難な人向けに導入したとのことであるが、最初のきっかけは寄附があったからということで、やはり導入には多額の費用がかかることを感じた。また、電子図書館が利用されるかどうかは、コンテンツの種類・内容次第で、コンテンツ数を増やすにも費用がかかることが、島田市での導入のネックになると思われる。

しかし、魅力的なコンテンツが提供できるようになれば、図書館に来ることが困難な人のみならず、読書離れが言われている若者層へもアプローチすることができる魅力的なシステムツールであると言える。

この他に、「マイブックプロジェクト」として、市内の全中学2年生（約1,400人）に対し、1,500円以内で本を購入できる図書購入券（市内書店限定）を配付し、購入した本は紹介文とともに学級文庫へ配置するという事業を実施している。（平成29年度予算は2,340千円）この事業についても若者への読書啓発として魅力的な事業ではあるが、やはり予算面で高額な負担となるため島田市での実施は難しい。

意見・感想6

豊川市中央立図書館は、近隣に公共施設や公園、駐車場などがあり大変優れた立地条件であるが、図書館概要から見ると来館者数は伸びているが利用者及び貸出冊数はマイナス4%と大きく減少している。このような条件でも利用者獲得に苦慮しているのは全国的に本離れが進んでいる現状が実感された。

平成27年度より図書館の展示コーナーを利用したコラボ共催などで集客を図り効果がでているという話で、これらのコラボをやってなければもっと落ち込んでいた可能性があり、今後はこれらの集客を利用者に替えることを考えていくと思われる。

電子図書館は、来館困難者を対象にするため制限を加えてスタートしたが利用者が少ないため枠を広げている。今後は主流となる可能性があるが費用と紙の本との共生が問題となると思われる。

また、職員の話の中で書棚（一般書）の整理が気になっているが委託のために手が出せないというおかしな現象が起きていたことは解決方法がある気がする。なお、実際に書棚をみて乱雑だったため言っていることが理解できた。

意見・感想7

豊川市中央図書館は、1階には喫茶コーナー、2階にはプラネタリウムの複合施設になっていて、市役所や公園も近くにあり、全体的にいい環境のなかにある印象を受けた。

豊川市電子図書館の感想としては、来館する必要がない等非常に魅力的なところがあるが、やはり電子図書館を維持していくには相当な費用が必要だと感じた。豊川市の場合、進出企業も多く自治体自体に体力があることと相当な寄付があったことが大きいので、島田市としても豊川市のように費用面で寄付等相当な補助がないと維持していくには難しいと感じた。

豊川市中央図書館にも、一番借りていく人が多いコーナーがあり「え、こんなところなの？」と思ったが、やはりそのコーナーに力を入れていたので、金谷図書館でも一番のコーナーにはもっと力を入れて充実を図って行きたい。

意見・感想8

電子書籍の貸出しについて、2週間で自動的に返却されるのは督促連絡の必要もなく、弁償もないので、その点は職員の負担が減るのでメリットだと思います。電子書籍にかかる費用についての資料がなかったため、具体的な金額は不明でしたが、説明からは「金額は結構かかっている」という印象を持ちました。

平成28年度の電子書籍貸出回数2,420回が多いのか少ないのか基準がないのでわかりませんが、費用対効果からいうと短期間では難しいでしょうが、もっと利用者を増大していく必要があると思います。「本当に利用して欲しい人」に利用していただくのは重要なことですが、

そこにとらわれすぎないことも必要かと思えます。

電子書籍の利用が増えていくと、究極的には図書館のスペースも職員もごく少数でよくなり、電子書籍化したことによる経費増大と人件費の減で採算が合うのか、というところに行くのかと思えますが、それが図書館の最終的に目指すべきところなのかよくわかりません。